

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【公開番号】特開2001-246092(P2001-246092A)

【公開日】平成13年9月11日(2001.9.11)

【出願番号】特願2000-60100(P2000-60100)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月6日(2006.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技盤上に球を発射する遊技機であって、所定の遊技条件の成立に基づいて予め定めた表示遊技を実行し、その実行結果として予め定めた複数の識別情報が特定の組み合わせで揃う特賞表示態様が形成されたとき、遊技者に有利な特賞状態になるものにおいて、

可変表示手段と、表示制御手段と、遊技状態予告手段と、予告遂行手段とを備え、

前記可変表示手段は、前記表示遊技を表示するための表示領域を成すものであり、

前記表示制御手段は、前記遊技条件の成立に基づいて前記表示遊技を前記可変表示手段上に展開表示するものであり、

前記遊技状態予告手段は、前記表示制御手段によって展開表示された前記表示遊技の実行結果が、あと1つ所定の識別情報が揃うと前記特賞表示態様になるリーチ状態を表示遊技の実行中に経過して最終的に外れに終わるリーチ外れになったとき、遊技が今後どのように進行するかを所定の演出表示を通じて遊技者に事前に予告通知するものであり、

前記予告遂行手段は、前記演出表示を通じて事前に予告した通りに以後の遊技を進行させ、

前記遊技状態予告手段は、予告通知する複数種類の演出表示の中の1つに、前記特賞状態になったときよりも短い所定期間にわたって前記大入賞口が開状態にされる演出表示を含むことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

かかる目的を達成するための本発明の要旨とするところは、次の項の発明に存する。

〔1〕遊技盤上に球を発射する遊技機であって、所定の遊技条件の成立に基づいて予め定めた表示遊技を実行し、その実行結果として予め定めた複数の識別情報が特定の組み合わせで揃う特賞表示態様が形成されたとき、遊技者に有利な特賞状態になるものにおいて、

可変表示手段(30)と、表示制御手段(110、181)と、遊技状態予告手段(1

８２）と、予告遂行手段（１３０）とを備え、

前記可変表示手段（３０）は、前記表示遊技を表示するための表示領域を成すものであり、

前記表示制御手段（１１０、１８１）は、前記遊技条件の成立に基づいて前記表示遊技を前記可変表示手段（３０）上に展開表示するものであり、

前記遊技状態予告手段（１８２）は、前記表示制御手段（１１０、１８１）によって展開表示された前記表示遊技の実行結果が、あと１つ所定の識別情報が揃うと前記特賞表示状態になるリーチ状態を表示遊技の実行中に経過して最終的に外れに終わるリーチ外れになったとき、遊技が今後どのように進行するかを所定の演出表示を通じて遊技者に事前に予告通知するものであり、

前記予告遂行手段（１３０）は、前記演出表示を通じて事前に予告した通りに以後の遊技を進行させ、

前記遊技状態予告手段（１８２）は、予告通知する複数種類の演出表示の中の１つに、前記特賞状態になったときよりも短い所定期間にわたって前記大入賞口（９０）が開状態にされる演出表示を含むことを特徴とする遊技機。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

前記本発明は次のように作用する。

遊技盤上に打ち出された球が始動口（50）に入賞するなど所定条件の成立に基づき、スロットマシンに見立てた図柄合わせゲーム等の表示遊技を開始し、その実行途中で、あと1つ所定の識別情報が揃うと「777」などの特賞表示態様になるリーチ状態を経由し、最終的に外れに終わるリーチ外れになったとき、遊技状態予告手段（182）は、本遊技機において遊技が今後どのように進行するかを所定の演出表示を通じて遊技者に事前に予告通知する。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

予告遂行手段（130）は、リーチ外れ後の演出表示を通じて予告した通りに以後の遊技を進行させる。たとえば、「大入賞口（90）が数回開くよ」という演出表示を行った場合には、実際に大入賞口（90）を数回開く。また「特賞が近いうちにでるよ」と事前に予告通知した場合には、今後、表示遊技を50回行うまでの間に必ず特賞を出現させる等の処理を行う。

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、遊技状態予告手段（182）は、所定の演出行程を経た結果として事前に予告通知の内容を表示する。たとえば、浦島太郎が宝箱を開けると、箱の中から煙りとともに予告内容の文字列が現れるなどである。このような演出表示を行うことにより遊技者により一層のスリルと興奮を与えることができる。なお、事前の予告通知には、遊技者に有利な状態を予告するものばかりではなく、このまま外れに終わってしまうことを通知するものも含まれる。

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００５７】

第１リーチ外れパターンの場合には、演出表示により、そのまま外れで終わる旨が通知され、第２リーチ外れパターンの場合には、大入賞口９０が数回にわたって開閉される旨の事前の予告通知がなされる。第３リーチ外れパターンの場合には、特賞発生が近い旨の予告通知が成され、第４リーチ外れパターンの場合には、第２表示遊技で所定回数にわたって時短モードに入る旨の予告通知が成されるようになっている。

【手続補正１６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００７０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００７０】

予告遂行手段１３０は、第１～第４リーチ外れパターンで予告通知した内容を実際に遂行する機能を果たす部分である。すなわち、第２リーチ外れパターンの場合には、演出表示の終了後、大入賞口９０を事前に予告通知した回数だけ開閉する処理を実行する。

【手続補正１７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００７６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００７６】

表示制御ＣＰＵ１８０は、図４に示すように、表示遊技制御部１８１と遊技状態予告部１８２としての機能を備えている。表示遊技制御部１８１は、制御ＲＯＭ１５３に記憶されているプログラムを実行することでスロットマシンに見立てた表示遊技を特別図柄表示装置３０の可変表示領域３１～３３上で展開表示する機能を果たす部分である。遊技状態予告部１８２は、表示遊技の実行結果がリーチ外れのとき、演出表示領域３４上に事前に予告通知としての演出表示を展開表示する機能を果たすものである。

【手続補正１８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００９３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００９３】

遊技の進行パターンが第２リーチ外れの場合には（ステップＳ８０３；Ｙ）、大入賞口９０が数回開く旨の事前の予告通知が演出表示を通じて行われ（ステップＳ８０４）、その後、実際に大入賞口９０が事前に予告通知された回数だけ開く（ステップＳ８０５）。図１０の例では、期待に胸をふくらませる少女と宝箱が現れ、この宝箱が開くと、煙りとともに「大入賞口が２回開くよ」というメッセージの出現する演出表示が成されている。

【手続補正１９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００９４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００９４】

遊技の進行パターンが第３リーチ外れの場合には（ステップＳ８０６；Ｙ）、特賞発生が近い旨の事前の予告通知が演出表示を通じて行われる（ステップＳ８０７）。その後、この予告通りに特賞を出現させる（ステップＳ８０８～８１０）。

【手続補正２０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 1 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 0 9 】

【発明の効果】

本発明にかかる遊技機によれば、リーチを経由して外れになった場合に、演出表示が行われ、今後の遊技の進行についての事前予告が行われ、さらにその事前予告通りに必ず遊技が進行するので、リーチ外れに終わった場合でも、遊技者の興奮と期待感を喚起し続けることができるとともに、遊技内容が変化に富み、面白みを増すことができる。